

2024 年度運用実績

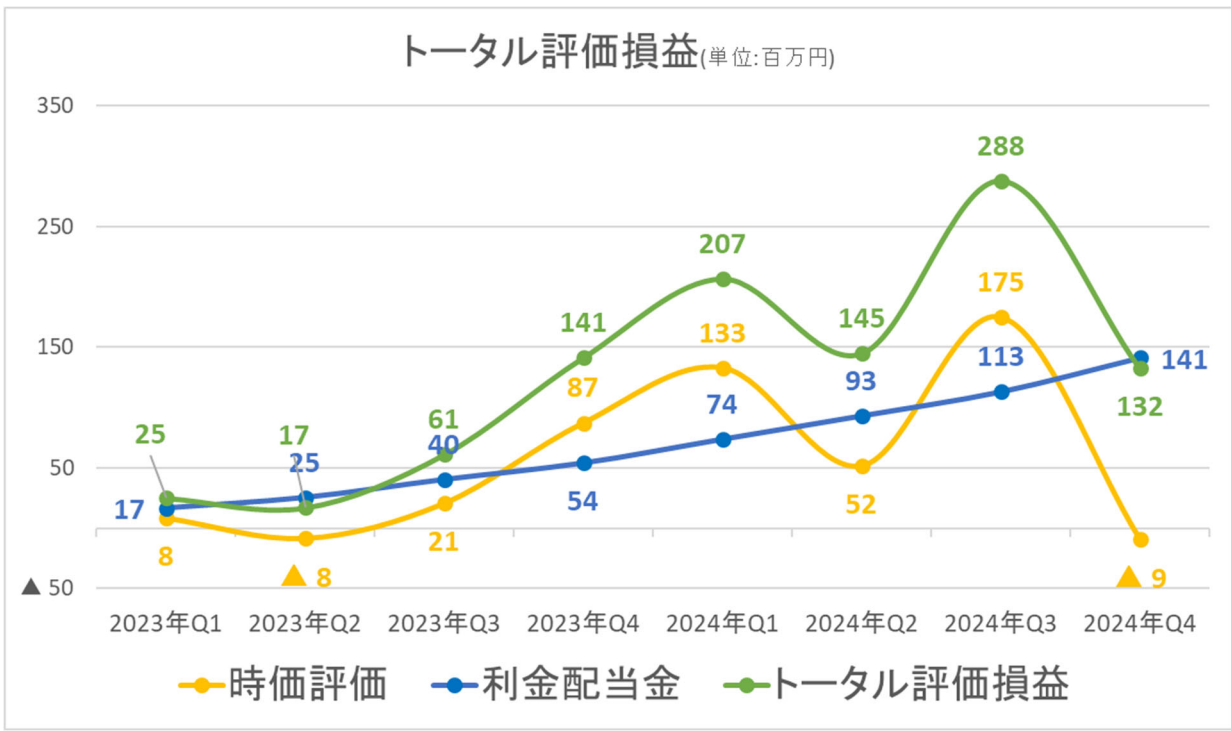
(1)総括

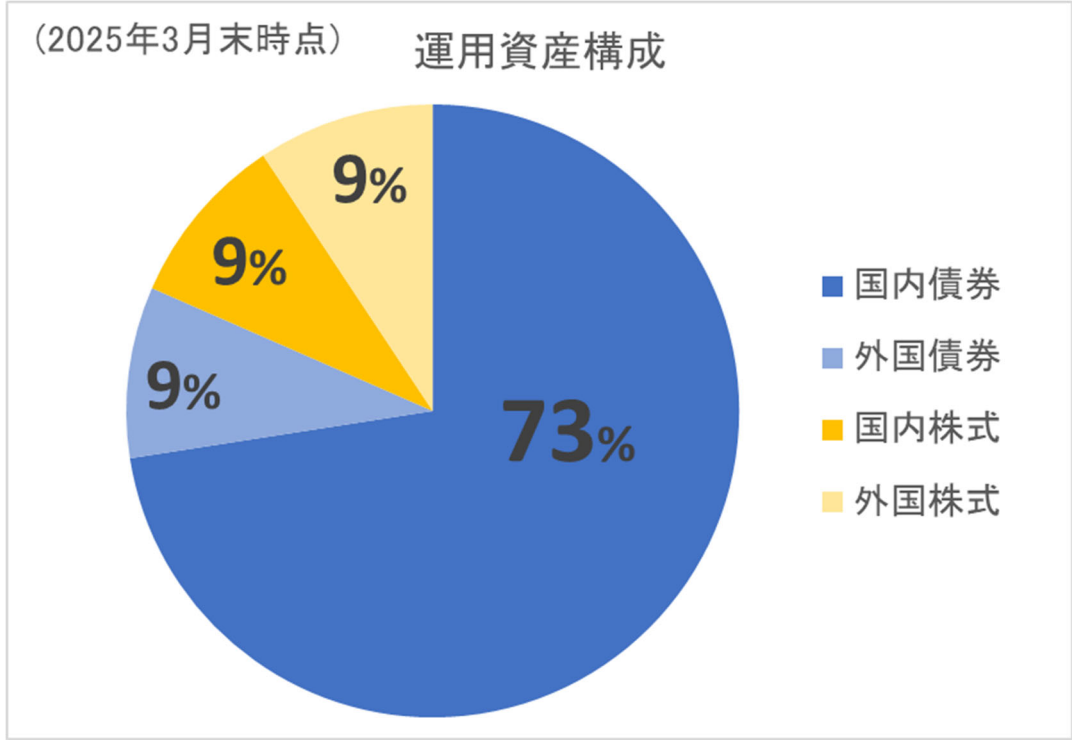
- 2024 年度は年度末の円高ドル安、株安、国内金利上昇による債券価格の下落と厳しい投資環境でした。今後もトランプ政権による米国関税や不透明な政策、地政学リスク等の短期的な不安材料により、更なる下振れの可能性もあることを認識しております。
- 現在はポートフォリオ組替えの最中であり、短期的な値動きはモニタリングしながらも、目的達成のため、長期的な目線でぶれずに運用を実施していきます。

(2)運用実績

	2024 年度	運用開始以降 (2023～2024 年度) ※
トータル評価損益率	0.05% 【年率】	1.42% 【年率】 ※
トータル評価損益 (うち、時価評価損益) (うち、利金・配当金)	▲8,883 千円 (▲96,117 千円) (87,234 千円)	132,311 千円 (▲8,928 千円) (141,240 千円)
運用資産額	80.2 億円(2025.3.31 現在)	

※年率は時間加重平均率による算定の参考値
※新たな運用体制後(2023～)のトータル評価損益を算出している





(3)運用の課題

運用開始以来のトータル評価損益は約 1.3 億円(年率 1.42%)、2024 年度のトータル評価損益は約▲0.1 億円(0.05%)。一方、**2024 年コア CPI(消費者物価指数)**は前年比 2.5%上昇、**2024 年建設工事費デフレーター(指標)**は前年比 3.82%上昇でした。ポートフォリオ未完成の現状、運用結果はこれら指標の上昇率を下回り、運用目的である「インフレリスクのヘッジ」は未達です。現在はポートフォリオ組替えの最中です。2031 年度に 4 資産均等となるポートフォリオを目指しています。今後も一喜一憂せず、長期的な目線で資産運用を行って参ります。

